

319その他の圧力容器を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	11	13～ 14	患者さんの入浴介助を始めようとして酸素ボンベを荷台から抜こうとした時、ベッド柵から荷台が外れて左足の小指に落ちてひびが入った。	51	4	130101	500 ～ 999
2	2017	10	18～ 19	車の足廻り（サスペンション）の分解作業中、スプリングを縮めるスプリングコンプレッサーが外れてしまい、工具と部品が自分の方へ飛んできて左手の小指、左眉にあたり、左手の小指を骨折、左眉に切り傷を負った。	26	4	11701	30 ～ 49
3	2017	9	10～ 11	客席横の倉庫裏口ドア付近を通ろうとしたところ、ビール用ガスボンベに足が引っかかり、ボンベが倒れ、左足甲から足先に掛けて下敷きになった。	28	7	140201	10 ～ 29
4	2017	9	16～ 17	空ボンベを集荷し荷台に積む際、両手で斜めにボンベを倒した所、先に積んであったボンベが動き出しボンベ同士がぶつかる。その反動でボンベと荷台の間に左人指し指上部を挟み負傷する。	51	7	40301	10 ～ 29
5	2017	7	17～18	薬液調整室にて一人で作業中、調整タンクに薬液を戻そうとした所加圧停止の安全確認を忘れ加圧中の調整タンクの蓋クランプを外してしまい、蓋が圧力で吹き飛び顔面に当たってしまった。鼻骨、眼底、上前顎骨折による。全治一週間。	20	6	10803	100 ～ 299
6	2017	6	19～ 20	店舗バックヤードキッチン出入り口にて、控室に戻ろうとした際、出入り口の扉を開けたところ、コーラの炭酸ボンベが倒れ	22	5	140201	30 ～

				て足に当たってしまい、右下腿挫滅創を負った。				49
7	2017	3	16~17	置場（ホーム高さ1m）にトラックを後向きで着けて、トラックに積み込む作業（回しながら移動させる方法）をしていたところ、回し方の角度を間違えて倒れそうになった為、ゆっくりと寝かせようと右足で支えながら倒した為、右足の踝部分を挟み負傷した。原因は、作業の慢心によるもので、本来はホイストで吊りトラックに積み込む作業をしていたが、それを怠った。	31	7	80204	30 ~ 49
8	2017	3	10~11	作業員が、需要家宅より取り外された容器（18kg）を車荷台に積み込む際、別の容器にあたり、別の容器が作業員の足元に落下した。	22	4	80204	10 ~ 29
9	2017	2	9~10	構内において製造中の船舶に消火用のボンベ（約80kg、1900cm×20cm）の取付作業を行っていた。ボンベを、吊り上げていた移動式クレーンより外し、取付金具をつけようとした際手を離してしまいボンベと共に転倒した。ボンベが首に当たり負傷したものである。	70	5	11501	1~ 9
10	2017	2	8~9	硫化水素ボンベ（1t/本）を貯蔵所へ搬入しようと地上を転がしフォークリフトのフォークに載せようとしたが、傾斜地であった為、被災者1人では出来ず、運転者と2人でフォークに載せ、運転者が、フォークをチルトしようとした時、ボンベが被災者の方向に微速で動きだした。被災者は、停止させようと正面で押さえたが、不可能と判断し退避しようとしたが間に合わず、ボンベとボンベに挟まれ被災した。	57	7	10899	50 ~ 99
11	2016	12	12~13	納品先でIGテストボンベを降ろす際、荷台からボンベを滑らせて立てようとした時、ボンベが滑り落ちそうになったのを止めようとしたところ、荷台の床とボンベの金具で挟み、右の手のひらが切れた。	43	7	40301	50 ~ 99
				天井にあるフードダクトを清掃中、台にしていた棚が壊れてバ				10

12	2016	12	19~ 20	ランスを崩し、下へ転落。その際、近くにあるフライヤーの熱い油に手をついてしまい熱傷した。	44	1	140201	~ 29
13	2016	12	15~ 16	倉庫で、翌日の準備作業の為、ガスボンベを車に積み替える作業をしていた。その際、ガスボンベとガスボンベの間に指を挟み怪我をした。	23	7	30209	~ 99
14	2016	11	8~9	1階厨房において、病院給食準備のため具材を圧力鍋で調理中、圧力鍋の状態が気に入り、鍋の様子を見ていたところ、突然圧力鍋の蓋が開いて、中の熱湯が噴き出して顔や首にかかり負傷した。	47	11	130101	~ 999
15	2016	11	8~9	1階厨房において、病院給食準備のため具材を圧力鍋で調理中に、圧力鍋の状態が気に入り同僚に鍋の様子を見てもらっていたところ、突然圧力鍋の蓋が開いて中の熱湯が噴き出して顔や首にかかり負傷した。	23	11	130101	~ 999
16	2016	11	8~9	くん蒸指定土場にて、天幕作業を行っていた時、くん蒸用のボンベを車の荷台から降ろしていた。ボンベの底には、持ち易いように、スカートがあるが、その部分に左手をかけボンベの上部を右手で持ち荷台から地面にボンベを置く作業をしていたが、左手の中指が抜けきれていない状態でボンベを地面に置いてしまったため、ボンベ底部と地面に挟まれ、左第3指を打撲、骨折した。	42	3	170209	1~ 9
17	2016	9	11~ 12	出勤後、着替えをしに更衣室にむかっている際に、ビアサーバー用ガスボンベに接触した。ガスボンベが倒れ、右足薬指が骨折した。	24	5	140201	~ 49
18	2016	9	16~ 17	オープン作業手伝いのため出張中に、店内バックヤードで納品された食材を運んでいる途中で、置いてあったガスボンベにぶつかり、左足の上に倒れてきた。	36	3	140201	~ 99
				配送先のスーパーへ炭酸ガスボンベを納入する為トラック荷台				30

19	2016	9	8～9	の上でボンベを移動していた際、ボンベが転倒しそうになった為、支えようとしたが支え切れず転倒し、その際ボンベが右足膝内側にあたり負傷した。	49	5	80204	～ 49
20	2016	7	17～ 18	店舗厨房内において、配膳準備作業を行っている途中、立ててあった空のガスボンベに、布製のクロスが上から落ちて引っかかっているのに気付いたため、クロスを取ろうと思い引っ張ったところガスボンベごと倒れ、左足の親指にボンベが当たり親指の骨にひびが入った。	39	4	140201	～ 49
21	2016	5	10～ 11	店舗内で、開店のための清掃作業をしている際、ホールデシャップ付近に置いてあった炭酸ガスボンベに接触し、そのはずみでボンベが左足に倒れ、左母指を骨折した。	33	5	140201	1～ 9
22	2016	4	1～2	塩化ビニル（PVC）樹脂の重合器内部の清掃用の足場設置の為、被災者と作業員Aが入器して、1段目の足場に上がり、2段目の足場板の設置作業中、作業員Aが奥側の足場板の上で、2段目の足場板を載せる角材を設置。被災者は入り口側の足場板の上で外から搬入する角材を受け取る際、手間側のバックルに左手を当てて支え、右手で角材を受け取ろうとした時、左手が滑ってバランスを崩し、底部まで転倒し、被災。	42	1	10801	300 ～ 499
23	2016	4	13～ 14	ガソリンスタンド敷地内にあるリフト室にて、4トン車に装着するタイヤに空気を注入していた時、タイヤに亀裂が入り出し、急にバーストした。その時弾き飛んだタイヤが作業していた被災者の左足膝部にぶつかり負傷した。	48	15	80204	1～ 9
24	2016	3	7～8	被災者は通行の際、エア漏れの音が聞こえた為設備を調べたところ、液体青棒入りの圧力容器上部からエア漏れを確認した。原因部品を確認しようと、圧力が抜けていない圧力容器のふたを開けて確認しようとした為に、蓋が跳ね上がり左眼周辺に強く当たり裂傷を負った。	43	4	11201	100 ～ 299
				物流センター内にて、当該物流センター新設移転準備のため				

34	2015	9	14～ 15	高圧ガスボンベ置場前にて、ワゴン車後部荷台に2段に横積したアセチレンボンベ（約45kg）を、車外へ降ろす作業を行った。上段の容器を車外から左右2名で荷台から引っ張り出そうとした際に、勢い余って容器が下段より荷台へ落下。容器と荷台との間に、添えていた左手指を挟まれ受傷した。	38	4	30104	10 ～ 29
35	2015	8	19～ 20	倉庫に営業にて使用するおしぼりを取りに行った際、倉庫内に保管されていた炭酸ガスが5本程保管されており、そのうちの1本に被災者が身に着けていたウエストポーチが引っかかってしまい、炭酸ガス1本が倒れてしまった。その際、被災者の右足小指にぶつかり受傷した。	57	5	140309	100 ～ 299
36	2015	8	12～ 13	ドリンクディスペンサーの調子が悪く、ディスペンサーの周辺で故障している所を探している時に、近くにあったガスボンベを倒してしまい、右親指にあたって怪我をした。	18	5	140201	10 ～ 29
37	2015	7	17～ 18	バックヤード外搬入口付近で、シロップタンクの廃棄の為「ガス抜き」をしようと炭酸ガスの充満したタンクに正規の手段ではない「皮スキ」（スクレーパー）でタンク本体に傷つけたため、タンクの圧力によって破裂し、左手親指付け根部分を骨折した。	38	15	130301	30 ～ 49
38	2015	6	10～ 11	作業場で洗浄作業の時、ソーダを103℃まで沸かして、釜の中を確認するために煮沸がまを開けた。圧力計が0になっていたから開けても危険はないと聞いていたので開けてしまったところ、噴き出し火傷した。	50	11	10109	10 ～ 29
39	2015	2	15～ 16	ガスボンベの荷卸作業中、誤ってボンベを倒しそうになり、それを支えようとして右手を添えたが、ボンベの重みに負けて結果右手薬指を負傷。	36	19	40301	10 ～ 29
40	2015	2	19～ 20	キャスト付のホワイトボードを後ろ向きで移動作業中に、通路北柱側に置かれていた生ビール用炭酸ガスボンベ10Kにホワイトボードの脚を接触させてしまった。結果ボンベが自分の左	56	5	140101	30 ～

				足の方に倒れてきて左足の親指を骨折した。				49
41	2015	1	12～ 13	店舗のガス貯蔵庫前において、ガス運搬トラックからボンベをリフトで降ろし移動した際にバランスを崩し、倒さないようにボンベを支えようとしたところ背中をひねり負傷した。	79	19	80204	1～ 9
42	2014	12	9～ 10	足を滑らせた時、転倒を防ごうとプロパンガスの鉄の栓を掴んだところ、プロパンガスの中身が少なく不安定な状態で揺れた事により後ろの鉄骨との間に指を挟み負傷した。	52	7	10109	100 ～ 299
43	2014	12	11～ 12	ガスボンベの検査工程で、引掛け金属キャップをエアークラッシュで外す作業中、インパクトレンチをキャップにセットし右手で押さえながら回す時に穴の空いた軍手を使用していた為、軍手にレンチがからまり、レンチとキャップの間に挟まれて、右手親指付け根の裂傷を負った。	57	8	11209	10 ～ 29
44	2014	11	10～ 11	当社工場内で作業器具である酸素ボンベを使用して作業をしていてコックを開いたところ、突然圧力メーターが破裂して右目を直撃し負傷した。	72	4	11701	0
45	2014	10	20～ 21	運行車荷台に荷物を積込中、ボンベを二段積みしようとした際、ボンベの底面に掛けた手を抜き損ねて挟んでしまい、右手中指・薬指の指先を骨折した。	65	7	40301	100 ～ 299
46	2014	10	20～ 21	カカオ室にて、仕込み工程でタンク内のジャケットに蒸気を入れ原料温度を上げる作業で、通常はタンク底にあるジャケットのドレンバルブを締めたことを確認し蒸気を入れるが蒸気を先に入れた状態でドレンバルブの開閉確認に向かったところ、ドレンバルブが閉まってなかったため蒸気が出て右手に火傷を負った。	49	11	10106	50 ～ 99
47	2014	10	16～ 17	LGC空容器置場で炭酸ボンベを専用パレット（カゴ）に乗せている時、すでにパレットに乗せていたボンベが倒れ左足の甲を負傷した。	63	5	11602	10 ～ 29

48	2014	8	10～ 11	フォークリフト作業中、LPガスがなくなった為、空ボンベをリフトから外して、保管棚下段に収納しようとしたが、勢いをつけて入れようとしたところ、空ボンベと仕切り棚に挟まれ負傷した。	37	7	50101	1～ 9
49	2014	7	16～ 17	鶏舎のある現場で、高圧ガスの空容器をトラックのパワーゲートを使用して積み込みしていた際、容器がぐらついて倒れてきて、避けきれず左足の内側に落下して靭帯を損傷した。	35	5	80204	50 ～ 99
50	2014	7	23～ 24	店内手洗い場で手を洗っている際、隣に置いてあったガスボンベが左足の上に倒れてきて骨折した。	19	5	140201	30 ～ 49
51	2014	7	16～ 17	工場内でガスボンベの処理をするためボンベの先端を外したところ、ガスが残っていた為、構内でショベルローダーに乗って別の作業をしていた被災者にボンベが飛んできて、右胸に当たり肋骨を骨折した。	53	6	11209	10 ～ 29
52	2014	6	10～ 11	会社の資材置き場に不法投棄されたゴミを焼却していた所、中に入っていたスプレー缶が破損して顔に当たり負傷した。	74	4	30309	1～ 9
53	2014	6	11～ 12	ガスボンベの交換中、誤って手が滑ってボンベで右胸を打った後、右足の上に倒してしまった。会社近くで受診したがその日の夜から足の痛みが強くなったため、次の日自宅近くの病院を受診した。	52	6	80409	1～ 9
54	2014	4	15～ 16	4階倉庫で、酸素ボンベの交換のため、空のボンベを動かしている時に扉に引っ掛かりボンベが足に落下し足を骨折した。	47	6	130101	100 ～ 299
55	2014	3	15～ 16	調査センター地下発電機室において、発電機起動用圧力タンクの警報装置動作を確認のためタンクドレン抜きより圧縮空気を放出の際、通常より開度を多くしたところソケットが外れ圧縮空気が一気に放出したため、ソケット部を手で止めようと2分間ほど右手掌（軍手着用）で押さえていたところ、圧縮空気の	23	11	150101	1～ 9

				温度差で右手掌を火傷した。				
56	2014	3	8～9	管理室で滅菌水の作製作業中に滅菌缶の蓋を開放したところ、エアー弁の配管内に寒天のカスが残っており缶内から空気が十分に抜けず、缶内の圧力が下がりきらなかった事と容器のパッキンの取付に不備があったためフタが飛んで顔に当たってしまった。	43	4	70101	50 ～ 99
57	2014	3	11～ 12	プロパンガスの配送作業中、50kgガスボンベバルブを持って、雪の上を引っ張っている時、融雪に足を滑らし転倒した。その際にバルブがゆるんでガスが少し漏れた。軍手では危険な為、車に積んでいる皮手袋を取りに行ったが慌てて、ゴム手袋をつけてバルブを閉めたので、気化熱により凍傷を負った。	50	11	80204	10 ～ 29
58	2013	12	10～ 11	豚舎通路にて、飼料配餌車を手押し中、病豚暖房用のプロパンボンベを脇に移動させようと抱きかかえたところ、誤って足親指付近に落下させた。	33	4	70101	10 ～ 29
59	2013	12	16～ 17	ボンベのビンを移動中、手を滑らせ、倒し、足の甲を強打した。	27	5	170209	1～ 9
60	2013	12	9～ 10	2段重ねたパレットから下りた際、足首をひねり、転倒した。	30	3	170101	100 ～ 299
61	2013	11	10～ 11	納品の積荷を降ろしている際、炭酸ボンベ(5kg)を足に落下させた。	37	4	80109	10 ～ 29
62	2013	10	15～ 16	LPガス検査依頼容器(約38kg)をトラックの荷台(高さ10m)から容器置き場のホームに敷かれたゴムマットの上に転がして降ろす際、荷台とホーム床面の段差で倒れそうになった容器を荷台の上から両手で押さえたところ、バランスを崩し、被災者が地面(アスファルト)に落下した。	52	4	80204	50 ～ 99

63	2013	10	10～ 11	ガス充填場の車上で、50kgボンベを荷降ろし中、ボンベを足首に落下させ、骨折した。	59	5	80204	50 ～ 99
64	2013	10	9～ 10	2 tトラックの荷台から降ろしたボンベ(重さ約60kg)を転がしていたところ、つま先に当たった。	44	4	30111	50 ～ 99
65	2013	9	9～ 10	ガスボンベの搬入作業中、ガスボンベ(高さ約1.5m、重さ約90kg)を載せた台車を垂直に支え、ガスボンベを立った状態にし、ガスボンベを台車から地上に降ろしたところ、ガスボンベがバランスを崩した為、支えようとした被災者がガスボンベと一緒に転倒した。	64	2	80109	10 ～ 29
66	2013	9	6～7	空になった窒素ボンベを交換しようと充填済みボンベを移動させていたところ、ボンベが倒れ、足にボンベが落下した。	41	5	170201	50 ～ 99
67	2013	8	9～ 10	院内にて、オートクレープ(減面)処理中、オートクレープ機の2段目に接触した際、感電した。	22	13	130102	1～ 9
68	2013	7	13～ 14	廃油タンクに廃油を入れる作業中、廃油タンク内のヒーターをつけっぱなしにしていたため、タンク内の空気が膨張し、タンクのネジが飛び、ほぼ骨に当たり、骨折した。	34	4	10809	1～ 9
69	2013	6	6～7	テールゲートリフターより容器(高さ1m50cm、重さ160kg)を降ろす際、ストッパーの窪みに容器が引っかかり、容器が倒れ、容器の下敷きになった。	30	5	40301	30 ～ 49
70	2013	5	17～ 18	屋外酸素ボンベ庫付近にて、酸素ボンベ(約60kg)の搬送中、ボンベが倒れそうになり、支えようとしたところ、足の上に倒れ、足親指を骨折した。	41	5	130101	50 ～ 99
71	2013	4	9～ 10	炭酸ガスボンベ(7kg)の残量がないことに気がつき、交換をした際、新しいガスボンベを誤って逆手に持ってしまったた	22	19	140309	30 ～

				め、腕に不自然な力がかかり、骨折した。				49
72	2013	3	16～ 17	ビールサーバーの生樽交換作業中、空の生樽を手前に動かした際、生樽とホースで繋がっていた炭酸ガスボンベが倒れ、足に当たった。	48	6	140201	～ 29
73	2013	3	11～ 12	船内にて、倉庫にあるボンベを部屋に持ち運ぼうとした際、腰を痛めた。	58	19	170209	1～ 9
74	2013	3	9～ 10	屋内作業加工場にて、手押しハウスクーの補助タイヤにエアコンプレッサーを用いて、中腰になり、空気を補充している際、タイヤが破裂。破片が飛び、被災者の眼鏡に当たり、破損したレンズで眼を負傷した。	47	15	80209	～ 29
75	2013	2	10～ 11	溶接用酸素ボンベを軽トラックの荷台に積み込み中、誤って足の上に落下した。	55	4	140301	～ 99
76	2013	2	9～ 10	空冷冷凍機の作動停止、圧力スイッチ不良の修理部品交換作業中、冷媒ガスの圧力を減圧出来ない状態で作業した為、冷媒ガスが噴出し、手および手指先にガスがかかり、凍傷を負った。	32	11	170209	～ 49
77	2012	12	9～ 10	工場外の設備を点検中、工場内へ窓部より侵入する際、足を滑らせ転倒し、置いてあったガスボンベに胸を打ち骨折した。	51	3	11502	～ 99
78	2012	12	9～ 10	ガスボンベの交換作業中、足元に雪があった為、滑り、建物の壁とガスボンベとに人差し指を挟み、受傷した。	27	7	80204	～ 29
79	2012	11	12～ 13	事務所の出入り口付近にて、ゴミ処理をしていた際、棚からガスボンベが落下し、漏れたガスが引火し火災が発生。負傷した。	65	15	140309	～ 29
80	2012	11	8～9	車両からボンベ倉庫へ移動中、充填済ボンベを回転させ移動したところ、パワーゲートとデッキの段差でバランスを崩し、	41	7	40301	～ 30

				シャッターの枠とボンベのキャップの間に手人差し指第一関節を挟み、裂傷した。				49
81	2012	10	5～6	バックヤードにて荷物整理を行っていた際、炭酸ボンベを倒し、足親指に当たり、骨にひびが入った。	26	5	80209	10 ～ 29
82	2012	10	14～ 15	ゴム板作製場にて、真空ポリデシカーターを使用してのゴム板の作業中、当器機の上蓋が、真空の圧力によって破裂した。その際、上蓋が顔面に当たり、鼻骨を骨折した。	45	15	11403	10 ～ 29
83	2012	10	14～ 15	第二工場の豆乳プラントにて、被災者は製造後の清掃業務を開始した際、AとBの蜜用釜のうち、B釜が呉の最終煮沸段階であることを、本人が配電盤情報にて確認したにも関わらず、B釜は空であると認識した（実際はA釜が空であった）。更に、釜蓋開放作業の手順である「蒸気抜き作業」を怠った為、釜蓋を開けた瞬間、圧力が解放され、内部の高温の呉が噴出した結果、被災者の上半身に飛散し、肌の露出部分（顔、首、腕）に火傷を負った。	40	11	10109	10 ～ 29
84	2012	9	11～ 12	加圧タンクを洗浄する為、洗い場まで移動していた際、3本脚で上部重心がある加圧タンクを引っぱったところ、車輪がまっすぐ進まず上部が足の上に倒れた。	31	5	10803	300 ～ 499
85	2012	9	19～ 20	ピットにて、ピット掃除中、パーツクリーナーをつぶすため、タイヤチェンジャーテーブルに叩きつけて穴を開けようとしたところ、缶が暴発し、手付近と顔に怪我をした。	20	15	80204	10 ～ 29
86	2012	8	15～ 16	ガスボンベを3 tトラック荷台で並べていた際、転がしていたガスボンベが先に並べていた別のボンベに当たりそうになった為、手で支えようとしたところ、手をボンベとボンベの間に挟んだ。	38	7	80204	1～ 9
				ビールの補充作業中、ビールが切れた為、新しい樽に取り替えようと焦って作業していた為、ビールサーバーの下に設置して				10

87	2012	8	20～ 21	いた空の樽を取り出した際、誤って奥にあった炭酸ガスボンベに触れ、衝撃でガスボンベが倒れ、手がガスボンベとビールの樽に挟まれ、負傷した。	20	5	140201	～ 29
88	2012	7	17～ 18	休憩室に入る前の通路を通過中、通路に置いていた炭酸ガスボンベに衣服が引っ掛かり、炭酸ガスボンベが足に倒れ、負傷した。	33	6	140201	～ 29
89	2012	6	14～ 15	がれき分別場で休憩中、搬入物のガスボンベが突然爆発し、破片が飛び散り顔に当たり、まぶた、鼻付近を切った。	41	15	30199	～ 29
90	2012	5	11～ 12	階段を降りていた際、下から4段目の段を誤って踏み外し、転落。	52	1	11401	～ 29
91	2012	5	14～ 15	洗浄作業中、エアータブが抜け、エアータブが暴れた際、エアータブ先端金具が勢いよく手首に当たり、手豆状骨を骨折した。	24	6	11209	～ 49
92	2012	3	9～ 10	他のドライバーがトラックよりガスボンベの荷卸し作業中、そのうちの1本のボンベが誤って、被災者の足に転倒し、負傷した。	30	5	40301	～ 29
93	2012	2	13～ 14	酸素ボンベ（直径50cm、高さ1.5mの円筒形、約300kg）をホイストクレーンの場所まで傾け、転がしながら運んでいたところ、酸素ボンベの傾きが急になり支えきれず、酸素ボンベが倒れ、足に当たった。	68	6	11301	1～ 9
94	2012	2	16～ 17	解体工事で使用した酸素ビン（約80kg）を、置場で車から降ろす際、誤って親指を挟み負傷した。	24	7	30209	～ 29
95	2011	12	17～	カート洗車場にてカートを洗車中、ホースにつまづき左手首を	52	2	140301	～ 50

			18	負傷した。					99
96	2011	12	20～ 21	砂搬送のフォークリフトボンベを交換する為、ボンベ置場と直角に停車すべきところで、リフトを平行に止めてボンベ交換作業を開始した。被災者は、ボンベを移動しようと左足をリフトに乗せた状態でボンベを持ち上げた瞬間にバランスを崩しボンベ落下と同時に被災者も落下した。その際 左足の安全靴が抜けた状態で床に落下、左中指付け根を骨折した。	41	1	11502	300 ～ 499	
97	2011	11	14～ 15	L P ガスボンベの製品年月の確認作業中、奥にある50kgボンベを確認しようと、手前の20kgボンベの上に乗ったところ、バランスを崩し、転倒した際に20kgボンベの上部プロテクターに接触負傷した。	42	1	80109	10 ～ 29	
98	2011	10	8～9	得意先にてアルゴンガスを納入（2本）する際、先にトラックから降ろして立てていた1本が、もう1本を降ろそうとしているときに倒れてきた為、指を挟んだ。	43	7	80204	1～ 9	
99	2011	8	13～ 14	新築工事現場において、フロンガスボンベを降ろそうとした際、ボンベが落下し右足薬指を直撃し、開放骨折及び伸筋腱断裂を負った。	29	4	30201	1～ 9	
100	2011	6	16～ 17	フォークリフトの廃タイヤを処分する為タイヤの分解作業をしていたところ、最後のボルトを外したと同時にタイヤのチューブの空気圧によりホイールが吹き飛び、その衝撃で手に持っていたインパクトレンチが顔面に当り負傷した。	40	5	80409	10 ～ 29	

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。